

こどもエコクラブが里山保全の体験



100本以上のニワウルシを退治しました！

4月19日（日）、NPO環~WAのフィールドで「プロントコーポレーション&こどもエコクラブ緑の活動・里山保全体験」のイベントが行なわれました。東京・神奈川から大型バスで46名の親子が参加。しもはじで竹林での筍掘りと外来種ニワウルシ駆除を体験しました。

午前の部は竹林の整備と「筍掘り」。ほとんどの参加者が鍬使い（用意した鍬は27丁）も筍掘りもはじめてで、アヤコ代表が安全な道具の使い方の説明からイベントがスタートしました。筍を掘るだけでなく、伸びきった筍を駆除する作業も協力してくれました。竹林も放置すると荒れ果ててしまいます。人の手が入ってこそ自然環境は守られることも学びました。

午後の部は、里山保全の学習と実践です。まず繁殖力の強い「ニワウルシ」の脅威と、なぜ駆除が必要で、どんなやり方で取り除くのかを学びました。そして、自然のしくみや不思議をつたえるユニット「ぼこぼこ」による紙芝居では、里山を守るために畑で育てる大豆について伝えられました。

その後、総勢50名で実際にニワウルシの駆除活動を行ないました。こどもたちも熱心に作業し、全体で100本以上の外来種を駆除することができました。放置しておくとう壊れてしまう里山の生態系を守るための保全活動です。

なお、ランチタイムは納屋カフェが用意したお弁当です。発酵調味料がふんだんに使われたおかずと筍ご飯がたっぷり。自分たちで掘った筍を使った味噌汁づくりも体験し、味わうこともできました。

NPO環~WAが設立以来大切にしてきたことは、「放置され荒廃し崩れた生態系を再生するために、整備した後に活用する基盤を創り、里山の機能を復活、利用する人を育てること」です。

参加されたこどもエコクラブ関係者の皆さんが、今後、さまざまな形で里山保全、環境保護の気持ちを醸成し、活動につなげていただけることを願っています。

なお、今回イベントのスポンサーであるプロントコーポレーションさんはsuntoryグループ企業さんです。



おおきなタケノコをほりました！



紙芝居で楽しく自然を学ぶ



荒れた畑をみんなで保全活動



取り立ての筍の味噌汁です